令和４年度　全国学力・学習状況調査

の結果について

北方町全体の結果について

■学力に関する調査の結果から

【小学校】

〇国　語：「話し言葉と書き言葉の違いを理解すること」や「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること」は身に付いています。一方で、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること」や「学年ごとに学習する漢字を文の中で正しく使うこと」に課題があります。

〇算　数：「被乗数（掛け算で、掛けられる方の数）に空位のある整数の乗法の計算をすること」「図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解すること」は身に付いています。一方、「示された場面において、数量が変わっても割合は変化しないことを理解すること」「角の大きさに着目して、図形の構成の仕方について考察し、記述すること」に課題があります。

〇理　科：「問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつこと」や「観察で得た結果を問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつこと」は身に付いています。一方、「実験で得た結果を分析し、その内容を記述すること」に課題があります。

【中学校】

〇国　語：「助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うこと」や「事象や行為、心情を表す語句について理解すること」は身に付いています。一方、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」や「行書の特徴を理解すること」に課題があります。

〇数　学：「連立二元一次方程式を解くこと」や「問題場面における考察の対象を明確に捉えること」が身に付いています。一方、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」や「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること」に課題があります。

〇理　科：「モデルをつかった実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画すること」や「化学変化に関する知識及び技能を活用して、図を基に化学反応式で表すこと」が身に付いています。一方、「水素を燃料として使う仕組みについて分析すること」や「物体に働く重力とつり合う力について説明すること」に課題があります。

★町全体として、小・中学校ともに「知識・技能」は身に付きつつありますが、「思考力・判断力・表現力」を身に付けていくことが課題です。今後、授業の中で、児童生徒が主体的に考え表現する場を工夫していきます。

■児童生徒質問紙調査の結果から　（）は昨年度の数値

［夢や目標について］

〇「自分にはよいところがあると思う」

・小学校 81.0%（78.8%）・中学校 71.1%（83.4%）

〇「将来の夢や目標をもっている」

・小学校 82.6%（86.5%）・中学校 69.9%（73.2%）

〇「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」

・小学校 90.8%（85.2%）・中学校 84.0%（87.5%）

★自分のよさを自覚しながら、将来に夢をもち、少々の困難も乗り越えようとする気持ちをもって生活している児童生徒が多くいることが分かります。今後さらに、このような「たくましさ」を様々な教育活動の中で育てていきます。

［いじめに関わる内容について］

〇「学校に行くのが楽しい」

・小学校 88.6%（74.8%）・中学校 87.2%（85.1%）

〇「どんな理由があってもいじめをしてはいけないと思う」

・小学校 96.7%（96.3%）・中学校 96.2%（95.8%）

〇「困った人がいるときは、進んで助けている」

・小学校 94.0%（89.6%）・中学校 86.5%（89.9%）

★いじめにかかわって、全ての児童生徒が上記の思いをもてるようにし、「思い」だけにとどまることなく、先生、仲間、保護者、地域の方とともに解決につなげていく行動力を身に付けられるように指導していきます。

［地域との関わりについて］

〇「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある」

・小学校 51.7%（55.2%）・中学校 43.0%（56.5%）

〇「今住んでいる地域の行事に参加している」

・小学校 57.6%（64.4%）・中学校 43.6%（63.1%）

★近年は、新型コロナウィルス感染症予防により、地域活動が十分にできない状況による影響もあると思われますが、以前に比べて近い数値になっています。今後は、ボランティア活動等地域での活動を通して、自分の住む地域を大切にする心を育て、地域の一員としての自覚を高めていくようにします。今年度は、中学生が積極的に地域に出て活躍しています。